

平成 22 年 9 月 27 日

各 位

『 F F G 調査月報 10 月号 』 発行について

経済調査誌『 F F G 調査月報 10 月号 』を発行いたしましたのでお知らせいたします。
今月のメインレポートは、寄稿「シンガポールに学ぶ経営戦略 」および「シュガーロード」です。

なお、 F F G 調査月報は福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の営業店の窓口に配置しております。

【メインレポート】

寄 稿

シンガポールに学ぶ経営戦略

九州大学大学院 丹羽 由一 教授

九州大学経済学研究院・ビジネススクールでは、福岡銀行と連携して「アジアのビジネスと金融」と題した特別講義を開講しています。毎回の講義は、新聞記事による時事解説も加え、教室と実態経済の同時進行型の講義形式で行っています。

今回は、「シンガポールに学ぶ経営戦略 」と題し、現在では世界の金融センターの一極を担い、アジアで最も発展した国としての地位を固めるまでに成長したシンガポールの画期的な社会・経済運営のなかから、経営のヒントとなる部分を抽出し、そのポイントについてご紹介いたします。

寄 稿

シュガーロード

(財)九州経済調査協会 調査研究部

豆本 一茂 主任研究員

福岡県北九州市小倉を起点として長崎市へと至る旧長崎街道。近年、この旧長崎街道を「砂糖の道 = シュガーロード」と呼ぶ動きが広まりつつあります。現在では、旧街道沿いを中心として広がっている菓子産業を、周辺自治体等によって、まちづくりや地域振興に活かそうとする動きも見られています。

ここでは、「シュガーロード」の成り立ちや概要、ネーミングによるイメージ構築について触れるとともに、各地の菓子を観光資源やまちづくり資源として見直していくことの効果等について、ご紹介いたします。

地域経済調査

B S I 調査による景況感の変化

福岡県、熊本県、長崎県の 3 県の企業約 1,100 社を対象として、2010 年 7 月に実施した「企業動向調査アンケート」を基に、3 県企業の景況感の他、企業における環境ビジネスや環境への取り組み状況等についてレポートします。

トップに聞く

FFG3行の頭取が、各行のお取引先企業を訪問する「トップに聞く」のコーナーです。今月はお取引先企業3社を訪問し、経営者の皆様からお話をいただきました。

中村 裕之 氏（株式会社アグリス 代表取締役）

当社は、人工透析に必要な消毒用具をプラスチックトレイに全て揃えて滅菌したケアセットや、いちご栽培用の農業用資材等についての開発から販売までを手掛けられている企業です。常に現場のニーズを意識され、商品開発に活かされています。また、顧客毎に異なる僅かな仕様の違いについてもオーダーメイドで対応される等、顧客本位の営業を実践されています。

塚田 強男 氏（株式会社風雅 代表取締役）

当社は、様々なスパイス等で味付けを施した大豆やカシューナッツ等の豆類を、有明海産の最高峰の海苔で丹精を込めて一本一本手巻きした「風雅巻き」を看板商品として製造されている企業です。素材へのこだわりはもちろん、毎年「経営方針書」を作成され、全役職員で情報を共有して業務に臨む姿勢が徹底される等、堅実でこだわりのある経営に取り組まれています。

池田 豊 氏（株式会社ホーセイ 代表取締役社長）

当社は、米海軍や海上自衛隊等の艦艇修理事業に加え、福祉や農産物販売、不動産管理等の事業を手掛けられている企業です。業務効率化や環境整備に対する意識も高く、艦艇修理部門において国内で初めてISO9001を取得されています。今後は、蓄積された高度な技術力やノウハウを活用しながら「広く社会に貢献出来る企業」を目指されています。

海外レポート

「香港のプロモーション活用（食品関連編）」

我が国の農林水産物等の最大輸出先である香港において、アジアで最大級の食品フェアと言われている「香港フードエキスポ2010(美食博覧)」が8月に開催されました。今回は、その博覧会の模様のほか、香港の地場スーパー等で開催される日本食フェアの模様等をご紹介します。香港における食品関連販売プロモーションの手法や在り方等について考察します。

海外進出最前線

「清本鐵工株式会社 ～大連清本鐵工有限公司～」

中国大連において、船舶用部品や風力発電用部品等の鋳鋼製品の製造を行っている企業にスポットをあて、進出を決めたきっかけや進出の際のエピソード、現地法人で注力されている事項等についてご紹介します。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 FFGビジネスコンサルティング 企画調査部（担当）池田、横尾

電話：092-723-2576 FAX：092-761-8846